



学校だより

令和8年度 第4号

令和8年7月17日発

発見する喜びを味わう夏に

校長 小林 卓

6年生の子供たちに「夏休みにがんばりたいこと」アンケートを取り、全校集会で子供たちに伝えました。勉強・習い事・挑戦したいことなど様々なことに取り組もうとしている子がたくさんいました。

4～7月、子供たちは何を発見してきたでしょうか。「学校でダンゴムシがいっぱいいるところはどこか見つけた子(たくさんの赤ちゃんダンゴムシもありました)」「移動教室でボルダリングをしたときに、高いところまで登ったらエアコンの涼しい空気ではなく暑い空気を感じた子」「そらまめのさやむきをした時に、さやのどこが(植物本体に)つながっていたのかなとつぶやいていた子」「ディスカッションをしたことで、自分の新しい考えを見つけた子」…。実物や目の前の人の考えに出会い、触れることで新たな疑問が生まれたり、実感を伴う理解が深まっていきます。保護者の皆様も、子供の時の方が記憶が鮮明だと思いませんか。「初めての体験」が子供の時だと感動が大きく、感情を揺さぶるからだそうです。いよいよ始まる長い夏休み。本物に出会い、見る、さわる、においをかぐ、感覚を使った発見する喜びを味わう夏になるといいですね。

マリーンズドリル贈呈式～本物のプロ野球選手に会えた夏～ 今年の夏、高洲第三小が千葉市代表で贈呈

7月10日(金)、千葉ロッテマリーンズ寺地選手が来校しました。今回は、代表児童が参加する贈呈式をオンラインで各学級に放映し、その後、廊下に並ぶ全校児童の目の前を選手が練り歩き、全校児童と直接触れ合うことができました。大きな手にタッチした子も多かったと思います。ジャンプしながら歌った応援歌に寺地選手からも感動のコメントをいただきました。スタジアムで活躍する本物の選手に出会う最高の夏の贈り物になりました。

レジリエンス～転んでもひとりで起き上がる力～

文部科学省も注目する子供の「レジリエンス」。「精神的回復力」と説明されています。失敗や思い通りにいかない状況は必ず経験します。「気にしすぎない力」「すぐに忘れて笑顔になれる力」も心の回復力。一方、敏感で心が傷つきやすいお子さんもいます。「転んでもまた起き上がればいい。」「次、がんばればいい。」と声をかけていきたいですね。これから先、子供が転ばないように、私たち大人がずっと手をつないでいくことはできません。失敗を恐れず挑戦する気持ち、しなやかでたくましい心が育ってほしいと思います。アニメ「ドラえもん」では、おばあちゃんがだるまを転がして起き上がる様子から、のび太くんが強く生きてほしいことを伝えるシーンがあります。実物のだるまを見たことがある子は多くないかもしれませんが、何度転んでも泣かないで起き上がるだるまさんのような強い子に育ってほしいです。

個人面談でお伝えしたこと

7月7日～10日の個人面談では、ご多用の中、ご協力ありがとうございました。面談は年2回(前期1回・後期1回＜後期は希望制＞)です。ご心配な点については、面談だけでなく日常的な連絡をとりながら連携を図ってまいります。

「熱中症」、「交通事故」や「水の事故」などに気を付けてお過ごしください。

～自分の命は自分で守る～ 9月に笑顔で登校してくれるのを楽しみにしています。